



ETC2.0データを活用した新たな民間サービス案を選定！ ～官民連携によるデータ利活用により、地域のモビリティサービスを強化します～

今般、民間の保有するデータと統合利用することにより交通の利便性や円滑化、安全性を更に向上させるサービス等、民間企業からETC2.0データを活用する新たなサービスについて、19サービスを選定しました。

今後、選定されたサービスの提案者と調整を進め、実用化にあたっての制度的・技術的課題の検証や実験・実装を行います。

- 国土交通省では、生産性革命プロジェクトとして、ETC2.0データを官民連携で活用することで、民間での新たなサービスの創出を促し、地域のモビリティサービスを強化することとしています。
- ETC2.0データを活用した新たなサービスに向けては、第1次募集として、平成30年8月14日～9月25日までの間、サービス公募を実施し、11団体から21のサービス提案をいただきました(別紙1参照)。
- このたび、有識者委員会「ETC2.0データに関する民間企業からの利活用サービス案評価委員会(委員長:柴崎亮介 東京大学空間情報科学研究センター教授)」(別紙2参照)での審議や、サービスの提案者への個別ヒアリングを踏まえ、適用性、妥当性、有用性、先進性、実現性の5つの観点から評価し、19のサービス提案(別紙3参照)を選定しました。
- 今後、選定されたサービスの提案者との調整を進め、実用化にあたっての制度的・技術的課題の検討や実験・実装を行ってまいります。

※公募の詳細については、以下国土交通省ホームページを参照ください。

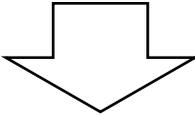
http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001058.html

問い合わせ先

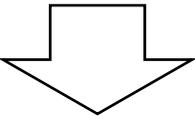
国土交通省 道路局道路交通管理課 企画専門官 竹下、道路交通情報係長 北川
TEL : 03-5253-8111 (内線37432、37465) 直通 03-5253-8483 FAX : 03-5253-1617

公募サービスの応募状況および評価結果

公募要件	<p><募集したサービス> ETC2.0データを用い、地域のモビリティサービスの強化等に繋がるサービスで、国内の関連法令・技術基準を満たすもの</p> <p><公募受付期間> 平成30年8月14日（火）～平成30年9月25日（火）</p> <p><応募資格> 「民間企業」</p>
------	--



1 1 団体 2 1 サービスの応募



1 1 団体 1 9 サービスを選定

実用化にあたっての制度的・技術的課題の
検証や実験・実装を実施

ETC2.0 データに関する民間企業からの利活用サービス案評価委員会
委員名簿

河口 信夫 名古屋大学未来社会創造機構 教授

日下部 貴彦 東京大学空間情報科学研究センター 講師

◎ 柴崎 亮介 東京大学空間情報科学研究センター 教授

堀口 良太 株式会社アイ・トランスポート・ラボ 代表取締役

◎ : 委員長

(敬称略)
(五十音順)

【一般車両プローブデータを用いたサービス】

提案サービス名	サービス概要
交通混雑予測を反映したスムーズな駐車場誘導サービス	観光地等にETC2.0可搬型路側機を設置し、道路上の混雑状況と駐車場の混雑状況を把握・予測。混雑を避けてスムーズに駐車場まで誘導。
公共交通機関(バス)の運行状況提供の高度化サービス	バス停間の正確な所要時間を、その区間を走行している一般車両のETC2.0プローブデータから算出。到着予想時間の精度を向上し、乗り継ぎの選択変更や待ち時間を有効活用。
高速バスの運行予測・情報案内サービス	ETC2.0の渋滞情報を活用して、高速バス車内で乗客に対し渋滞情報や到着予測時刻を配信。
一般・業務ドライバー向けエリア・ヒヤリハット情報提供サービス	団体が保有するドライバー情報と、事故情報、ETC2.0データに含まれるエリアの経路情報や挙動情報を統合し、居住エリア・配送エリアの「事故予防情報」として提供。
飲料自動販売機によるエリア・ヒヤリハット情報配信サービス	周辺エリアのヒヤリハット情報を飲料購入者に自販機の情報ディスプレイや発話機能を通じて提供。
車両区分ごとの通行実績表示サービス	乗用車主体の民間プローブにおける通行実績に、ETC2.0の乗用車以外の通行実績を補完。
集約駐車場における地域交通マネジメントサービス	ETC2.0データを活用し、地域の活性化やモビリティサービス強化につながる駐車場の設計や運営をマネジメント。
道路の危険箇所調査サービス	ETC2.0情報で抽出した危険箇所に、センサを設置し、事故を引き起こす要因となる危険行動やヒヤリハットを把握。
道路メンテナンス時期予測サービス	ETC2.0の通行データと車重データを組み合わせ、各道路に掛かる負荷を予測し、精度の高い道路メンテナンス時期を予測。

【特定車両プローブデータを用いたサービス】

提案サービス名	サービス概要
過疎地域の路線バス・タクシー運行管理サービス	バス会社やタクシー会社が、指定車両のETC2.0データから、現在位置や到着時刻、代替手段などの情報をサービス契約した利用者に情報提供。
地域の運送サービス車両の運行管理支援サービス	地域の運送サービスを提供する車両から、事業者の民地に設置した路側機を介してETC2.0データを収集し、運行管理支援サービスを提供。
庸車運行管理サービス	物流会社が指定車両のETC2.0データから、車両位置、速度、加速度情報や経路情報などを確認することにより、庸車運行業務を適正化。
トラック連携・効率化サービス	ETC2.0の通行データと車重データを組み合わせ、細かい道路単位での物流状況を把握し、トラック運送業者に効率的な物流を提
外国人旅行者向けレンタカー安全運転支援サービス	訪日外国人のレンタカー運転時に、ETC2.0データ、運転特性、車内カメラによるドライバーの挙動把握を踏まえ、情報提供や安全運転を指示。
バス運転手の健康・教育サポートシステム	生体情報デバイスによるモニタリング結果とETC2.0データを組合せ、運転手の技量分析や「ヒヤリハット地点」の注意喚起でバス事業者が運転手を指導。
ヒヤリハットデータを活用した道路交通安全向上サービス	ETC2.0及びカーシェア会員の属性別ヒヤリハットデータを相互に提供。潜在的な危険箇所を特定。車両・運転手の属性に応じた運転支援や経路選択等に活用。
テレマティクス保険情報提供サービス	ETC2.0データと点検整備情報やASV情報等を組み合わせ、テレマティクス保険情報提供サービス。
交通空白地域における運転者情報提供サービス	ETC2.0データと自動車検査証情報、保険会社が保有するドライバー運転適正情報等を組み合わせ、交通空白地域における運転者情報の提供サービス。
大型車インセンティブサービス	ETC2.0データと地図情報や自動車検査証情報を組み合わせ、大型車の走行経路等に応じてインセンティブを付与。

ETC2.0データの利活用サービスに関する公募

ETC2.0データ

ETC2.0車載器と路側機との通信により情報を収集

車両の情報

- ・種別
(普通、大型等)
- ・用途
(乗用、貨物等)

走行履歴情報

- ・時刻
- ・位置情報

挙動履歴情報

- ・進行方向
- ・速度
- ・ヨー角速度
- ・加速度



道路

クルマ

ETC2.0
車載器



ETC2.0
対応カーナビ

利活用

民間からの新たなサービス案の提案

例えば

民間保有データとの相互利用

民間保有データ

お客様情報
・年齢 等

安全運転情報
・時刻
・車間警告
・車線逸脱 等

ETC2.0データ

走行履歴情報
・時刻
・位置情報

挙動履歴情報
・急ブレーキ
・急ハンドル

注意情報の提供



経路履歴等を分析し、運転特性を踏まえた注意や代替モビリティの提案等することで交通安全性を向上。(所有者の了解を前提とするサービスも含む)

他の交通モードのデータとの組合せ



利用者が選択できる最適な移動手段を提案し、効率的な移動を達成することで渋滞削減等を促進

地域のモビリティサービスの強化